

## 21世紀の学会発展のビジョンと戦略を考える

### 産業界・行政等の連携から

山口有次（早稲田大学）

#### 1. はじめに

私が所属する早稲田大学理工学総合研究センターは、産学官連携による研究を推進するとともに、大学の研究成果を産業界へ積極的に技術移転するべく活動を行っている。

また、私自身、大学での研究や講義だけでなく、民間研究機関の調査研究活動に携わるなかで、産業界・行政等の方々と日常的に接している。1990年から最新の2004年版まで、15年間継続して「レジャー白書」の産業動向に関する執筆を担当しており、レジャー産業界を定常的に観察している。

このような経験から、産業界・行政等のニーズをとらえ、学会の対応について以下の提案を行った。何らかの示唆を与えることができれば幸いである。

#### 2. 学会への提案内容

##### ■研修コンテンツの提供

##### ＜職能別研修コンテンツ分類＞

経営戦略・経営企画、経理・財務、研究技術、生産管理、営業・マーケティング、国際戦略、人事労務、ビジネススキル、情報リテラシー、メンタルヘルス等

##### ＜階層別研修コンテンツ分類＞

経営者、管理者・監督者、中堅社員、新入社員

##### ＜その他＞

学生のインターンシップコンテンツ

##### ■国内外のレジャー・レクリエーション事例データベース

- ・活動事例や施設の写真や資料の共有化
- ・会員による投稿、投稿者へのメリットの提供
- ・データベース構築に対する企業メセナ・スポンサー支援

表1 産業界・行政等のニーズと学会の対応一覧（案）

	ニ ー ズ (例)	学 会 の 対 応 (案)	
産業界	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社外の資源を有効活用して優れた人材を育成したい</li> <li>○経営上の参考になる研究成果をしりたい</li> <li>○企画立案の参考になる事例をしりたい</li> <li>○研究委託又は共同研究を行いたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■研修コンテンツの提供</li> <li>■研究内容ごとの研究者人材データベース</li> <li>■研究受託または共同研究のポータルサイト</li> <li>■企業研究者の成果発表を容易にする学会誌の多様化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■国内外のレジャー・レクリエーション事例データベース（企画立案・教育用）</li> <li>■先進的レジャー・レクリエーションのプロジェクトプロデュース</li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>○政策立案のための研究成果を得たい</li> <li>○「低コスト」な予算で「民間主導」による「産業振興」をはかりたい</li> <li>○新しい産業振興のモデルをつくりたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■レジャー・レクリエーションに関する政策提言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■メセナとしての企業スポンサー獲得</li> <li>■関連書籍の出版</li> </ul>
大学 研究機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既往研究成果を簡便に把握したい</li> <li>○レジャー・レクリエーション研究に関する世界的な研究成果情報の収集</li> <li>○研究成果を広く公開し活用してほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■インターネットによる研究成果デジタルアーカイブ構築</li> <li>■海外の研究成果リンク集の作成及び国際的な学会連携</li> </ul>	

<レジャー・レクリエーション教育への活用>

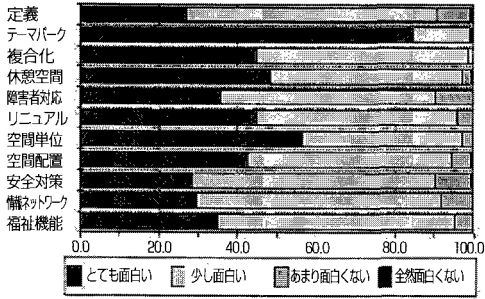


図1 事例DBを用いた某大学講義の学生受講満足度割合 (縦軸は各回の講義テーマ)

受講した学生の感想 (例)

○映像中心の講義方法について

- ・写真や映像を使った講義は、とても分かりやすかった。(類似意見多数)
- ・こんなにたくさんの映像や資料を提供してくれる講義は今まで受講したことがなかった。興味があることではなくても、新しい考え方、新しい捉え方を知ることができて、とてもよい機会となった。
- ・映像が効果的に使われていて非常に興味をひき、実際そこに行ってみたくなった。

○講義の効用について

- ・人生における余暇の考え方が少し変わったような気がする。
- ・毎回新しい発見があって面白かった。普段何気なく過ごしていた余暇活動だけど、これからこの授業を通して学んだことにより、今までとは違った見方で見られると思う。
- ・今まで何も考えず楽しんでいたレジャー施設を別の面から見ていくきっかけになった。
- ・レジャー施設などに行く際、ただ楽しむだけでなく、講義で学んだことを念頭に入れて分析することができそうだ。
- ・この授業をきっかけにいくつも本を読んだので、ためになった。

■研究受託または共同研究のポータルサイト作成

■企業研究者の成果発表を容易にする学会誌の多様化

■レジャー・レクリエーションに関する政策提言

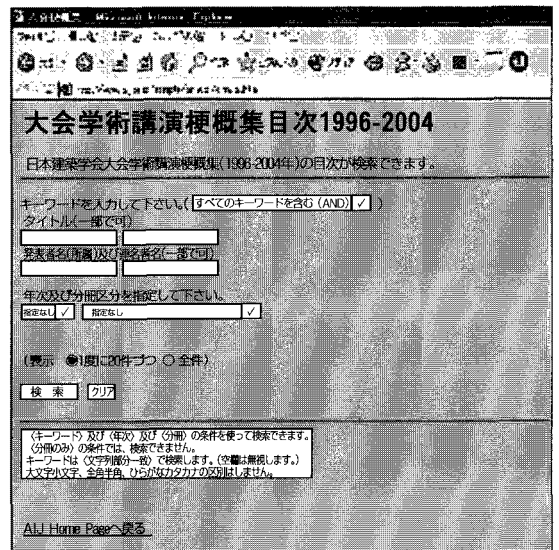
- ・発言

記者会見、会議録、HP掲示板

- ・提言書
- ・書類、書籍、HP
- ・行動
- ・共通アクション、ボランティア

■インターネットによる研究成果デジタルアーカイブ

- ・目次インデックス
- ・キーワード検索
- ・内容閲覧
- ・最新版からはPDF提出、既報はスキャニング
- ・企業メセナ・スポンサー支援



<http://www.aij.or.jp/scripts/annual/annual.htm>

■海外の研究成果リンク集作成及び国際的な学会連携

- ・海外の研究成果リンク集
- ・国際的な学会連携、国際会議
- ・日本のレジャー・レクリエーション関連コンテンツの海外輸出ポータルサイト

■先進的レジャー・レクリエーションのプロジェクトプロデュース

■その他

- ・メセナとしての企業スポンサー獲得
- ・関連書籍の出版